

集団洗口用溶解瓶 (500mL・1200mL) の使用説明書



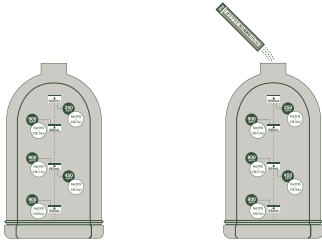
ご使用になる前に

- 3つの濃度 (900ppm、450ppm、250ppm) が調製可能です。
- 溶解には清潔な水道水をご使用ください。
なお、浄水器を通した水道水、ミネラルウォーター、井戸水等は使用しないでください。
- 洗口液を軽く振り混ぜる際は、ポンプ及びポンプキャップがしっかり締められているかご確認ください。
(ポンプは押し下げて回すと締めることができます。)
- ポンプ1プッシュで約5mLが吐出されます。
なお、液量が約50mL以下になりますとポンプでの吐出が難しくなります。

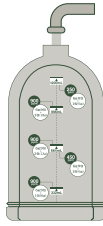
集団洗口用溶解瓶を使用した洗口液の作り方 (調製法)

※イラストは1200mL溶解瓶

① 調製する濃度、水の量、
オラブリスの量を確認
(溶解瓶の裏面を参照。)



③ 調製する目盛線
まで水を入れる



④ ポンプ及び
ポンプキャップを
しっかり締めて、
軽く振って溶かす



⑤ ポンプをプッシュ
して洗口液を吐出
(1プッシュ約5mL)



(ポンプが付いている方を下に向けない)



集団洗口の人数目安

● 500mL溶解瓶を使用する場合

900ppm (週1回法)

オラブリス の量	水の量	人数の目安(1回分)	
		5mL	10mL
6g	330mL	66人	33人
9g	500mL	100人	50人

450ppm (週5回法)

オラブリス の量	水の量	人数の目安(1回分)	
		5mL	10mL
1.5g	165mL	33人	16人

250ppm (週5回法)

オラブリス の量	水の量	人数の目安(1回分)	
		5mL	10mL
1.5g	300mL	60人	30人

● 1200mL溶解瓶を使用する場合

900ppm (週1回法)

オラブリス の量	水の量	人数の目安(1回分)	
		5mL	10mL
6g	332mL	66人	33人
12g	664mL	132人	66人
18g	996mL	198人	99人

450ppm (週5回法)

オラブリス の量	水の量	人数の目安(1回分)	
		5mL	10mL
6g	664mL	132人	66人

250ppm (週5回法)

オラブリス の量	水の量	人数の目安(1回分)	
		5mL	10mL
6g	1200mL	240人	120人



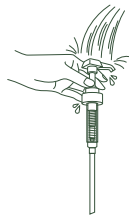
保管及び取扱い上の注意

- 洗口液は冷蔵庫で保管してください。
- 洗口液が漏れますので、容器は倒置したり、ポンプが付いている方を下に向けしないでください。
- 洗口液の外観に変化が見られた場合には、その洗口液を捨て、よく洗った溶解瓶及びポンプを使用して洗口液を調製してください。

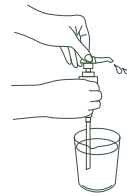
集団洗口用溶解瓶(500mL・1200mL)の洗浄方法

ポンプの洗浄方法

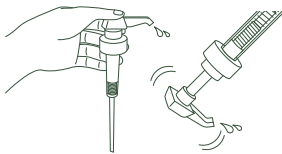
①ポンプの外側を洗い流してください。



②コップ等に水道水を取り、ポンプを3回以上プッシュしてポンプの内部を洗浄してください。



③ポンプの洗浄が終わりましたら、内部の水が出なくなるまでプッシュしてください。また、吐出口を下にして傾け、内部の水を出してください。



④水をよく切った後、よく乾燥させてください。



溶解瓶の洗浄方法

※イラストは1200mL溶解瓶

①スポンジブラシなどを使用して、溶解瓶の内部を洗浄してください。



②洗浄後はしっかり水道水ですすいでください。



③水をよく切った後、よく乾燥させてください。



再度使用される場合は、ポンプを2～3回プッシュして初めの洗口液を捨ててからご使用ください。

保管及び取扱い上の注意

- 使用後は溶解瓶及びポンプをしっかり洗浄し、よく乾燥させてください。
- 溶解瓶及びポンプに洗口液の残液があるとカビの発生原因になります。
- 溶解瓶及びポンプは定期的に消毒用アルコールを用いて洗浄してください。また、月1回程度は哺乳びん洗浄・消毒剤などを用いて浸漬することをお勧めいたします。
- 消毒用アルコールで内部を消毒すると消毒効果に加え、乾燥を助けます。
- 消毒用アルコールや哺乳びん洗浄・消毒剤などを使用した場合は、溶解瓶及びポンプの内部に残液がないか必ず確認のうえ、ご使用をお願いします。残液がある場合は、コップ等に水道水を取りポンプを3回以上プッシュしてください。その後、調製した洗口液を入れた溶解瓶に付け、ポンプを2～3回プッシュして初めの洗口液を捨ててからご使用ください。